

蕨 1

広報WARABI

2008/平成20年

わらび・673

- 平成20年 1月 1日発行／発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 12月 1日現在人口：71,095人 前月比 +84人
男 36,382人 女 34,713人
世帯数：34,408
人口密度：13,940人／km²



元気いっぱい大型かるた 遊びに夢中の子どもたち

明けましておめでとうございます。新春第1号の表紙を飾ってくれたのは、福祉・児童センターで大型かるたを楽しむ子どもたちです。読み札が読まれると、みんな我先にと、縦40センチ、横27センチの取り札に飛びつきます。寒さを吹き飛ばすくらい元気いっぱいです。

目次

- 新春座談会…………… 2
- わたしたちの描いた郷土… 4
- 第62回成年式…………… 6
- いきいきシルバーライフ… 8
- まちの話題…………… 9
- 学校給食…………… 10
- 子どもクラブ…………… 11
- 輝いていま ひと…………… 12
- わらびの野鳥・虫・草…… 12

「あつたか市政」飛躍の年へ

平成20年新春 蕨市は日本一の「あつたか市政」の実現に向け、着実に歩み始めています。今月は 蕨市出身で現在フリーアナウンサーとして活躍中の小島奈津子さんと頼高英雄市長、岡田栄次市議会議長の3人が、明日のまちづくりを語り合いました。



2008年 新春座談会



変革の年を振り返る

一同 新年明けましておめでとうございます。

市長 小島さんは、アナウンサーとして数多くテレビに出演されていますが、蕨市出身のかたが活躍されている姿を拝見すると、ほんとうにうれしく思います。

議長 出演される番組も、報道からバラエティまでと、幅広い分野で活躍されていますね。特に昨年、蕨市を紹介する番組に出演されたときは、興味深く拝見しました。

小島 ありがとうございます。放送後、市民の皆さんの反響はいかがでしたでしょうか。

市長 翌日は、市内の商店や中山道、三学院などが、多くの人でにぎわっていました。

議長 テレビの効果のすごさをあらためて感じました。

小島 まち紹介のお役に立ててうれしいです。

市長 小島さん、これからも蕨を

紹介してくださいね。(笑い)
小島 はい。ところで市長さん、議長さんにとって、昨年はどんな年でしたか。

市長 昨年6月に第6代蕨市長に就任して7か月、毎日が無我夢中でしたが、1つ1つの仕事で7万市民の幸せと、まちの発展につながっていく点で、たいへんやりがいを感じています。

議長 市議会も市長選挙と同時に選挙が行われ、定数も削減されました。新たな議会改革のスタートと、少数精鋭の議会運営で、各議員が緊張感を持ちながら、まちの課題に取り組んだ年でしたね。

小島 市政や議会にとって、いずれも大きな節目となったんですね。テレビのお仕事をさせていただくなかで、自身の信念は、視聴者の皆さんに正しく、分かりやすく情報をお伝えすることですが、市政や議会の運営は、どのようなお考えで進めていますか。

市長 常に7万市民が幸せになる



より たか ひで お
頼高 英雄 蕨市長
(北町1丁目)

ためには、どうしたらよいかを考え、私自身が掲げているマニフェスト(公約)に全力で取り組んでいます。

小島 具体的には、どんな事に取り組まれたのですか。

市長 まずは、すぐにできることとして市長給与の30%削減と退職金の50%削減や、防犯対策の強化、下水道料金や国保税の値上げ凍結などに取り組みました。

議長 議会としましては、駅西口再開発事業など市政の取り組みや市から提案された議案に対し議論を交わし、市民福祉の向上に努めることが大事であると考えています。

新年度予算の構想は

小島 今年1年は、どのようなまちづくりを進めるのでしょうか。

市長 はい。今、平成20年度の予算編成を行っているところですが、マニフェストの実現(3表1)、中でも安全・安心のまちづくり、子育て支援の2点については、特



こじまなつこ
小島奈津子 さん
(蕨出身アナウンサー)

・プロフィール
北小学校、第二中学校卒業。
フジテレビアナウンサーを経て
現在フリーで、TBSの「噂の！
東京マガジン」などに出演中。

に力を入れたと考えています。
議長 市民意識調査でも、安全安心のまちづくりを望む声が多くあります。私自身、町会長を務めていますが、会員の皆さんは、犯罪をなくそうと力を合わせ防犯パトロールに精を出しているんですよ。
市長 ありがたいことに、市内37の全町会が取り組んでくださっています。そうした皆さんへの支援や防犯灯の増設など、防犯対策は今年もいっそう強化していきたいと考えています。

をと考えています。
議長 まちづくりの課題は多くあります。議会では、昨年、議会改革で議員定数を24人から18人にし、任期中の4年間で約2億4000万円の削減になります。そのお金は、バリアフリー法に基づいた駅エレベーターの設置といった福祉をはじめ、教育など市民の皆さんの暮らしに生かしていただきたいと思っています。
市民本位のまちへ前進
小島 正確に分かりやすく伝えるためには、まず、自分が関心を持つて知ることだと思っています。ですから子育てでも、おいしい、美味しいなど食事中の子どものしぐさから、「食育」について興味を持ったので、今年1年、食育の勉強もしていこうかなと思っています。
議長 なにごとも関心を持つことはいいですね。
市長 そうですね。実は来年、蕨市は市制50周年を迎えるんです。

これからの蕨市発展に向けて、今年には市民の皆さんと50周年に向けた事業の準備もしていきたいと考えています
ので、ぜひ、市民の皆さんにも関心を持っていただき、ご協力をお願いしたいと思います。
議長 まちづくりの大きなきっかけになると、今から期待しているところですよ。
小島 今の蕨は、昔に比べ、商店街を見ても、まちに元気がないと感じています。今行われている駅前、のまちづくりは、若い世代を呼び込むためのきっかけの1つになると思いますし、安全のまちづくりでしたら、「蕨には、これだけ防犯カメラが設置されていますよ」といったように、なにか他市と比べて特徴を持たせることも大事なことです。
議長 蕨市にある歴史や文化など、まちの個性や魅力を引き出すことも重要ですね。
市長 蕨市はコンパクトなまちで、市民の交流や活動も活発です。それに中山道や古くからある商店街など、歴史と文化が今も息づいています。そうした蕨のよさを最大



おか だ えい じ
岡田 栄次 蕨市議会議長
(南町4丁目)

表1

あったか市政の5つの柱	
1	安心・安全のまちづくり
2	市民の健康づくり
3	子育ての支援
4	元気な蕨づくり
5	みんなでつくる市民参加のまち

表2

平成19年 市政この1年ベスト10		
1	32年ぶりに新市長誕生(頼高英雄氏第6代蕨市長就任)	6月
2	駅西口再開発事業の対応方針決定	11月
3	市立病院産婦人科診療拡大(土曜日午後、予約制で妊婦健診受診可能)	10月
4	放課後子ども教室が市内小学校で順次スタート	7月
5	自動体外式除細動器(AED)を全公民館に設置	7月
6	文化財新規5件 市内初の天然記念物にフジ棚	3月
7	コミュニティバス料金改定(精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人無料に)	1月
8	市民参画・協働のまちづくり指針策定	2月
9	安全歩行区域と路上喫煙禁止区域設置	10月
10	保育園一時的保育の拡充(3園から4園へ)	10月

限発揮させれば、蕨市は、今まで以上に魅力あるまちになると確信しています。そのまちづくりに向け、今年も市民の皆さんとの接点をたいせつにしながら、「あったか市政」の飛躍に向け、全力を注ぎたいと思います。
議長 これからの市政運営という

のは、緊迫感の連続だと思っています。それに対応するには、今まで以上に議員自身が勉強し、見識を持つて対応しなければなりません。また、市民に身近な議会を目指すため、今年はケーブルテレビを活用した議会中継の充実や議会だよりの刷新など、議会改革をいっそう進めていきたいと考えています。
小島 ぜひ、蕨市が、もっと住みやすいまちになるよう期待しております。
市長 はい。小島さんもお仕事に子育て、ぜひがんばってください。
議長 みんなで応援していますよ。
小島 ありがとうございます。
一同 今年も市民の皆さんにとつて、実り多い年でありますように。

＜特集＞ 蕨の未来・夢

わたしたちの描いた郷土

昨年末に開催された第42回埼玉県「郷土を描く児童生徒美術展」に、県内の小・中学校786校が応募し、92,235点が出品されました。その中から、市内の児童・生徒9人がみごと知事賞と特選を受賞されましたので、ここに蕨の未来や夢、思い出を描いた受賞作品とその作者の皆さんをご紹介します。



県知事賞



やまぐち こう た ろ う
山口巧太郎さん
北小学校 2年

「海へようこそ」

夏休みに海へ行ったとき、とてもきれいでびっくりしました。僕の家のおそばにもきれいな海があって、お魚たちとたくさん遊べたらいいなと思って描きました。



まつもと あつ や
松本 篤哉さん 塚越小学校 4年

「おなかいっぱいフルーツの木」

ミカンやリンゴ、スイカなどいろんな実がなる大きな木で、雲に乗って採りに行きます。おなかいっぱい毎日みんな楽しいと思います。



とまる ゆう や
都丸 裕哉さん 塚越小学校 3年

「いっぱいつったぞ！」

おじいちゃんとおばあちゃんに教わった魚釣り。お父さんと行くとたくさん釣れるから、魚がいっぱいできれいな川が近くにあったらいいな。

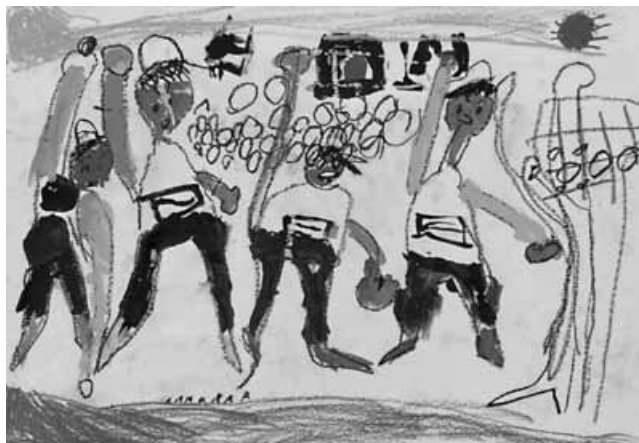




ふくだ さき
福田 瑛輝さん 北小学校 2年

「ゆめの学校」

学校の屋根や壁がお菓子で出来ていて、おやつの時間になったら食べられる…。そんな学校があったら、毎日がとっても楽しいだろうなあ。



うえの しゅう
植野 周さん 中央小学校 1年

「あかぐみとしろぐみのたいけつ」

運動会が大好きです。中でも玉入れは、みんなでわいわいできて、とても楽しかったです。毎日できれば、みんなもっと元気でいられるよ。



いわさき ひりゅう
岩崎 飛竜さん 第一中学校 2年

「未来の町へ」

風車など古いものをたいせつにしながら遠くの近代的なまちと共存する自然豊かなまちです。広がる田園ののどかさは平和を表しています。



はすみ なつき
蓮見 夏希さん 塚越小学校 4年

「未来の水上の島」

地球の温暖化で、北極の氷が溶けたらきっとまちが全部海になると思います。でも、こんなまちなら水の上でも楽しく暮らせると思います。



まつもと いおり
松本 伊織さん 東中学校 3年

「今日の夕暮れ」

幼いころから遊んだ思い出いっぱいの市民公園です。夕暮れは暗くなりかけた景色と夕日に照らされた草花とのコントラストがきれいです。



ごとう けいた
後藤 圭太さん 第一中学校 2年

「吾が学び舎」

今、熱中しているサッカーの楽しさを教えてくれた幼稚園を描きました。いつも通っていたこの道を通る度、初心に戻ることができます。



新成人の輝かしい明日へ

「第62回成年式」を開催



▲「成年式発祥の地記念像」の前で記念撮影（昨年1月）

蔵で初めての「成年式」が行われたのは、終戦の翌年、昭和21年のことでした。敗戦で多くの国民が虚脱状態にあるなか、戦地から復員（兵役を解かれて帰省すること）してきた人たちを温かく迎える奉仕活動を行っていた蔵町青年団が「青年祭」を企画したのが始まりでした。「次代を背負っていく青年たちに希望を持ってもらい、力を合わせて自分たちの国を、まちを、平和で住みよく文化の高いものにしていきたい」と考えたのです。その年の11月22日から3日間、蔵町と青年団の共催によって「第1回・蔵町青年祭」が、蔵第一国民学校（現在の北小学校）で開かれました。この青年祭では、現在の式典の基となる「成年式」が行われたほか、芸能大会や絵画・

成人式発祥の地・蔵で祝う20歳の門出

新成人の皆さん、おめでとうございます。今月14日は、皆さんの20歳の門出をお祝いする「第62回成年式」が、市民会館コンクレホールで開催されます。新成人を代表する11人の成年式実行委員が、これまでに何度も話し合い、企画してきた式典だけに、きっと皆さんの一生の思い出に残るはずです。参加する1人1人が、旧友たちとの再会を楽しみ、成人としての自覚と責任を確認し合って、この成人式発祥の地・蔵から、未来へと羽ばたいてほしいと思います。

彫刻などの文化展覧会、農産物品評会、復員相談室といった多彩な催しが開かれ、青年たちの沈んだ心に再び明かりをともし始めました。蔵の青年たちの手で生まれた青年祭から2年後の昭和23年には、全国に広がり、「国民の祝日に関する法律」によって、「成人の日」が誕生しました。そのため、全国に先駆け行った伝統と、新成人の皆さんが社会の第一線で活躍されることへの変わらぬ願いから、蔵では今でも「成年式」の名称で、式典を行っています。時代が移り変わっても、明日への希望を持つ新成人の皆さんには、互いに励まし合い、自由と責任を胸に、この成人式発祥の地・蔵から、大人としての第一歩を踏み出してほしいと思います。

新成人の皆さんへ



「決意」作詞者
中村泰三さん
中央4丁目

戦後の日本を背負う青年たちを励まそうと生まれた成年式。私自身も未来を担う子どもたちのためにできることをしようと、小児科医師の道を選びました。成人になるということは、大きな責任も伴いますが、自由でもあります。前途を見つめ、今なにをすべきか。成年式の意義を今一度振り返り、皆さんが明日の日本を築く大きな力になってくれることを願っています。

決意

— 成人式の若人へ —

中村 泰三

大きな夢を
成し遂げようとする
一途なまなざしこそ貴いのだ
青春の迷いや
実り足りない精神を
その手に しっかと握りしめて
いま 立ちあがった君の位置を
わずかにずらしたところに
はじらいがあると
見届けえたか
光あふれる肩に
豊かな胸に
信ずるほかに何もないと
知りつくして
見ひらいた目の幅だけ
確実に踏み出すのだ
そうだ 決意は そこから始まる
ひたむきに
また歩きはじめる君の
たしかな二十歳
美しいと讃えよう

新成人手作りの式典で一生の思い出に

今年の「第62回成年式」は、新成人、男性345人、女性329人、合わせて674人（昨年12月25日現在の皆さん）をお招きし、市民会館で、今月14日に行います。受付は午前10時半からとなっています。この式典は、市内3校の中学校を卒業された、男女11人の皆さんが実行委員会の委員として、式典の企画から運営に携わり、みんなの一生の思い出に残るものになろうと張り切っています。実行委員の皆さんのお名前と役割は下囲



▲仕事や学校など、忙しい時間の合間を縫って、今回の成年式の企画から式典進行の練習などに励んでくれた実行委員の皆さん



意をしようというものです。この歌詞は、元蔵市教育委員であり、医師で詩人の中村泰三さんが作り、イオンド大学（国際機構）の名誉博士で作曲家の小林新さんが曲を付けたものです。お2人には、当日の式典にもお越しいただく予定です。

式典の後半には、中学校時

代、新成人の皆さんがお世話になった先生がたも登場してもらえることになっています。当時の懐かしい思い出に浸りながら、ひとときをお過ごしください。

式典終了後、正午からは、青少年団体連絡協議会主催の「20歳のつどい」が、市民会館と中央公民館を会場に開かれます。福引きコーナーのほか蔵更正保護女性会の皆さんによるお茶会などもあります。同窓生や先生がたといっしょに思う存分お過ごしください。

成年式実行委員の氏名と役割

実行委員長	富岡 優さん
副実行委員長	岡島裕紀さん・坂本彩貴絵さん
式典の司会	本澤 航さん・山藤あずさん
会場係	齋藤 恵さん・押尾 春奈さん
青年の主張	佐藤 大さん・宮崎彩英子さん
20歳の誓い	田村 充さん・佐々木杏紗さん

案内状届かない人連絡を

「成年式のご案内状」が届いていない人や、蔵市出身で市外在住の出席希望者は、市役所3階生涯学習課（☎433・7729）へご連絡ください。

補導員の経験生かし 子どもたちに愛のひと声

防犯パトロールの一環として、子どもたちに優しく声をかけ、安全登校を温かく見守る内海江美さんをご紹介します。

愛のひと声で潤いを

「おはようございます」と、西小や二中へ通う子どもたちが笑顔であいさつをする視線の先に、内海江美さん(錦町2丁目・70歳)の姿がありました。朝8時、防犯パトロールのベストを着て、子どもたちが行き交う第二中学校裏通りの交差点で迎えます。「いつてらっしゃい。とひと言、声をかけるだけでも生活に潤いが出るでしょ。今では子どもたちも私の顔を覚えて

「いつてらっしゃい。子どもたちと触れ合う内海さんの朝



くれて、向こうからあいさつしてくれます」。

地域防犯推進委員のほか、婦人会活動やコミュニケーション誌の編集委員など多方面で活躍されている内海さん。朝の防犯パトロールを始めたのは2年前からでした。子どもが大好きで、日課としている朝の散歩が防犯パトロールと兼ねられればと、始めたのがきっかけです。

そんな内海さんの活動の原点は昭和49年設置の蕨市少年センターにありました。内海さんは昭和57年に補導員の委嘱を受け、その活動のなかにあった「愛のひと声」運動が心を動かしていたのです。

この運動は、非行の早期発見・防止のため、定期的に市内を見回り、青少年に声をかけをするものです。「非行を見つけたからといって、頭ごなしに注意はしない。母親の気持ちになっ

す。するとね、どんな子でもすなおに話を聞いてくれます」と、優しい笑顔が印象的な内海さん。

でも、当初はなかなか声をかけられず戸惑ったそうです。「教育委員会の熱心な指導の下、何度も研修を重ねて声かけができるようになった。

補導活動は、仲間と和やかに巡回しながら情報交換ができるという楽しさもありました」。

健やかな成長を願う

補導活動は15年間続き、内海さんは平成8年に社団法人日本善行会から善行表彰を受けました。そして70歳を迎えた昨年10月、長寿善行者として東宮御所に参内し、皇太子殿下からお祝いのお言葉をいただきました。「声か



昭和57年当時の補導員証 活動の原点です

けはすぐには形にならない。でも、その積み重ねで将来、その子が正しく成長してくれば」と、内海さん。「以前、声をかけた子どもが、いつしか、かわいい赤ちゃんを連れていて『おばちゃん、覚えてる?』って声をかけてくれたんです。そんな場面に出会うと『愛のひと声』はすばらしいと感じます」。内海さんはこれからも未来を担う子どもたちを温かく見守ります。

蕨
いま
むかし

- 287 -

塚越4丁目付近から
西方向を望む風景

昔の写真は昭和7年に塚越4丁目付近から西方向に向かって撮影されたものです。当時は辺り一面、田んぼでした。遠くに見える森は現在の西仲通り(中央1・2丁目、南町1丁目)にあたります。森の手前、田と田の合間を縫うように線路が通っています。蕨駅が開業されたのは明治26年7月です。当時は蒸気機関車でしたが、大正時代になると列車の電化を求める気運が高まりました。写真右に見えるのは電化のために新設された変電所で、今も面影が残っています。昭和7年9月1日、列車が電化され、上野・大宮間をあずき色の電車が走り始めました。電化によってそれまで約1時間を要していた上野・大宮間の所要時間は35分に短縮されました。開通した日、川口や大宮などの沿線各地では盛大な祝賀行事が行われましたが、蕨でも各戸で町旗と軒ちようちんを掲げ、駅前には裝飾門を造り、花火を打ち上げ、子どもたちによる旗行列が行われたと伝えられています。



情報ダイヤル

掲載は無料です
図秘書広報課(☎433・7703)

【読んでください】

▶不要なコンビカーがありましたら福祉・児童センター(☎431・7300)へ

【ご参加ください】

▶入門社交ダンス無料講習会 日曜日 午後1時 福祉・児童センター<内田・☎446・2612>

▶何でも話せる親子関係のつくり方(子どものやる気と思いやりを育てる) 16日 午前10時 下蔵公民館 無料 先着20人 申し込み不要<親子を考えるサークル「ひびきの会」・☎432・5402>

▶新入学・進級おいおい会 3月2日 午前10時 市民会館 対象=市内在住の母子家庭 申し込み=2月8日まで<堀江・☎431・5143か増渕・☎445・7745>

【仲間になりませんか】

▶竹紫館(剣道) 月・水・金曜日 午後6時 同館(中央2丁目) 月2,000円 年長~中学生 随時見学・体験可<活動日の午後6時~7時に同館・☎432・4895>

▶県陽ジュニア新体操クラブ 火曜日 幼児=午後5時 小学1年~3年生=午後6時 小学4年生以上=午後7時 西小学校体育館 月4,000円<森山・☎442・6192>

▶クラブ絵手紙(絵手紙) 第2・4火曜日 午前10時 下蔵公民館<芝崎・☎442・9030>

▶花みずき(押し花と作品作り) 第4火曜日 午前10時 中央公民館 月1,000円<加藤・☎443・2022か福田・☎431・2484>

▶女声合唱団コーロ・ダーマ 水曜日 午前10時 中央公民館 月4,000円<町田・☎441・2456>

▶中級中国語クラブ 木曜日 午後1時 旭町公民館 月2,000円 留学気分で中国語<小出・☎445・8600>

▶3B体操クラブ 月3回 水曜日 午前10時 東公民館 月1,600円<宮寄・☎443・1328>

▶エアロビクスキャッツ 金曜日 正午 東公民館 月1,500円 体験レッスンあり 主婦のかたが中心のサークルです<安藤・☎258・3646>

【ご相談ください】

▶蕨断酒新生会(酒害相談) 8日=中央公民館 16日=南公民館 24日=旭町公民館 いずれも午後6時半<岡田・☎441・3172>

▶アルコール依存症の自助活動 月曜日 午後7時 中央公民館 お酒をやめたい人<AA浦和・☎03・3590・5377>

美化活動に4000人参加



「クリーンわらび市民運動」が12月2日の日曜日、市内37町会で一斉に行われ、市民4125人が早朝から地域の美化活動に汗を流しました。子どもからお年寄りまで、各地区に集まった人々は、ごみ袋やほうきを持ち、公園や道路などを約1時間清掃し、市内全域で前回より1200多1万1000のごみを集めました。

20回目の朗読コンサート



手作りのむしばんを食べながら、朗読を楽しんでもらおうと、ボランティアサークル「山びこ」の「むしばんコンサート」が、12月2日、東公民館で開かれました。20回目を迎え地域に定着したコンサートの朗読のほか、フルート演奏もあり、来場の230人が時のたつのを忘れるほどでした。

児童に伝える戦争体験



12月7日、西公民館の高齢者学級「ことぶき大学」の参加者17人が西小学校を訪れ、6年生87人に戦争体験を話しました。この催しは公民館と学校が協力して昨年度から行っているものです。高齢者の皆さんは、食糧難や空襲の恐怖など戦争の悲惨さを語り、未来を担う児童たちに、平和のたいせつさを伝えました。

成長を実感した発表会



子どもの成長を保護者に見ていただくとうと、毎年行われているさくら保育園生活発表会が12月8日、同園で開かれ、園児91人が歌や合奏、劇などを披露しました。100人以上の保護者たちが埋まった2階ホールでは、元気に発表する園児たちの姿に、「前回より上手になった」と、我が子の成長に目を細めていました。

収穫を喜びもちつき会



12月16日、南公民館でもつ子クラブのもちつき会が開かれました。同クラブは、子どもたちによる、トマトの苗植えや田植えなど年間を通じての自然体験を目的に昨年発足しました。この日使用したもち米も、戸田市の田んぼで収穫した物です。子どもたちは「おいしい」と、収穫を喜び合い1年を締めくくりました。



いま



むかし

今の写真は塚越4丁目付近から同じ方向を撮影したものです。昭和32年に塚越土地区画整理事業が認可され、道路や公園が出来、新しい住宅が次々と建てられました。そして人口も増加し、今の塚越が形成されています。

心と身体の 健やかな成長を願う 学校給食

育ち盛りの子どもに必要な栄養いっぱい
の学校給食。人気のメニューはお代わり
続出です。でも、安全でおいしい、大事
な給食の食材に充てる給食費の未納者が
いて、市は、頭を悩ませています。学校給
食センターの沖田明男おきた あきお所長に聞きました。

親と子の ニュースの 小窓



年間約180回の給食を作る学校給食センター

子どもたちに食のたいせつさを伝える

ワラビ 大好きなスパゲッティをもっと出してほしくて、所長さんをお願いにきました。
お母さん 所長さん、ごめんなさいね。ワラビったら急に、学校給食センターに行くって

言って聞かないんですよ。
沖田 いいんですよ、お母さん。でもワラビちゃん、給食センターでは、育ち盛りの子どもが健やかに育つように、安全で栄養バランスの取れた、いろいろなメニューの給食を

食べてもらいたいんです。
ワラビ 好きなものだけ食べてちゃだめってことですか？
お母さん あたりまえでしょ。

沖田 それに、学校給食はたいせつな教育の一環なんです。健康増進はもちろん、正しい食事の習慣や安全な食べ物の

未納に充てるお金は「たいせつな税金」

お母さん 小学校で月3675円、中学校では月4410円の給食費で、充実した食事がいただけるわけだから、決して高くはないと思いますが。

沖田 はい。給食費は食材に充てるためのお金で、一食単価は小学校で224円、中学

知識、みんなが仲良しになってもらうなど、給食を通して、いろいろなことを学んでもらいたいんです。

ワラビ 分かりました。じゃあ、僕は先に帰るよ。

お母さん もう、ワラビには困ったわ。それにしても学校給食の意味って、思った以上に深いものだったんですね。

沖田 はい。センターの管理栄養士が学校に出向いて、食育のお話をしたり、市内の野菜農家の人と交流会を開いたり、給食のたいせつさを知ってもらうために取り組んでいます。でも、最近困ったことがあるんです。

お母さん 为什么呢？
沖田 給食費を払っていただけない人がいるんです。

校で271円なんです。

お母さん それで、給食費の未納があった場合はどうなるんですか？給食の量が減ってしまうんですか？

沖田 いいえ。子どもたちのためにも、量や質を下げるようなことはしていません。

お母さん そうすると、不足分はだれが払うんですか？

沖田 センターの運営費用は、税金が使われています。給食費の未納があると、更に多くの皆さんの税金を充てなければなりません。

お母さん 子どもが通学していない人も負担してくれていいんですね。申し訳ないわ。

沖田 はい。給食費を集めるのは学校です。忙しいなか、先生がたが、通知や電話、家庭

訪問なども行つて、未納がないようにお願いしています。

お母さん 理由があつて、働けない人や収入が少ない人などには、市で援助できる制度もあると聞きました。

沖田 そうです。だから未納になる人はわずかですが。

お母さん 子どもが食べるのに、払えるのに払わない保護者がいるとしたら問題だね。
沖田 事情があつたら、いつでも相談に乗ります。



「給食の理解をいただき未納の解消に努めた」と沖田所長



自由な発想で外遊び 子どもクラブ

外遊びを考える会
「どろんこの王様」

「自分の責任で自由に遊ぶ」がモットーの冒険遊び場「プレイパーク」が、12月16日、錦町6丁目ちびっこ広場で開かれ、子どもや保護者約100人が参加しました。市民の皆さんで作る「外遊びを考えたい会・どろんこの王様（会員8人・代表にいづまこ新妻朋子さん）」と西公民館が共催した催しは、慣れない金づちやのこぎりを使って廃材から机やいすを作ったり、木にロープを巻きつけてターザンロープ遊びをしたり、子どもたちにとって、楽しい初めての体験がいっぱいありました。こうして思い思いの遊びを自分たちで作出した子どもたち。「プレイパーク」は夢が広がる冒険広場になっていたようです。



優しさの「環境行動」

子どもに広がる再利用
塚越地区留守家庭児童指導室では、物を大事にする気持ちを子どもたちにはぐくんでもらおうと、食べ終わったおやつのごみは、きちんと分別し、迷っている1年生たちに

は、上級生が教えてあげるなど、5年前からごみの分別に取り組んでいます。分別後、再利用のできる物は、指導員の先生が棚にしまっておきます。子どもたちは遊びの時間になると、棚から新聞の折り込み広告やポスターを取り出して、お絵かきや折り紙を始めたたり、お菓子の空き袋を持って、お隣の塚越公園にマツボックリやドングリを拾いに行ったりします。子どもたちにも一目で分かる再利用は、今ではみんな、あたりまえの行動になっていて、物を無駄にしないという意味を少しずつ感じ取っているようです。



わが家のアイドル

は 葉ちゃん
(3歳6か月)
お姉さんぶりを発揮しています。そんなお姉ちゃんですから、正太郎は、万葉に『しようちちゃん、おいでー』と呼ばれると、部屋のどこにいてもうれしそうにはいはいして行きます。きょうだいっていいですね」と、2人を見守りながら話す、母親の圭子さん。
錦町2丁目

「甘えん坊だった万葉(左)ですが、弟の正太郎が生まれてからは、買い物や散歩をするとき、私にだっこをせがまなくなりしました。最近では、『かずお姉ちゃんだから』と泣いている正太郎に縫いぐるみを渡したり、自分の分のジュースを分けてあげたりして、

●プレママ講座／妊娠中のママたちへ／とき10日(水)午後1時半～4時 産婦人科医師による妊娠・出産についてのお話、先輩ママとの交流会 申し込み電話で保健センター

●申し込み電話で保健センター
とき＝毎月1回 水曜日 午前10時～11時半
対象と初回
①平成19年9月生まれの第1子とそのママ(初回は1月9日)
②平成19年10月生まれの第1子とそのママ(初回は2月6日)
＊お子さんの生まれ月により参加を開始していただく月が変わり、4回で修了となります。
＊定員は全部で15組で、コースを修了された人数分(欠員分)のみ新規募集をします。

●エンジョイマクラブ
育児不安のあるママたちのクラブです。

回	とき		内 容
	2月	3月	
1	4日(月)	3日(月)	妊婦 歯科健診・保健
2	21日(木)	10日(月)	食生活・赤ちゃんの育て方
3	23日(土)	15日(土)	お産の経過 沐浴実習
時間はいずれも午後1時半～4時			

●両親学級

赤ちゃんメモ

(間) 保健センター
(☎431-5590)

●新生児・産婦訪問指導
対象＝赤ちゃんが産まれてから4か月児健診の前月まで受けられます。(第2子以降のお子さんでも可)
内容
・保健師、助産師による
・赤ちゃんの身体計測
・発育や育児についての相談
・お母さんの産後の相談
※赤ちゃんが産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているがき)を保健センターまでお送りください。
●乳幼児健康診査・相談
持ち物＝母子健康手帳 問診票
※対象月に受けられないときは翌月でも受けられます。
●離乳食講習会
とき＝午前9時45分～11時45分
ところ＝保健センター
託児は可能ですが先着10人までです。第2子以降のかたはご相談ください。
持ち物＝母子健康手帳、筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスタオル、ビニール袋(おむつ持ち帰り用) ほか必要な物
※都合のよい1日を選んで事前申し込みください。

とき	対象児	受付時間・ところ
4 か 月 児 診 健	15日(火) 16日(水)	午後1時15分～2時 保健センター
1歳6か月児 診 健	22日(火) 23日(水)	
2 歳 児 診 健	11日(金) 18日(金)	
4歳6か月児 診 健	24日(木)	
1 相 歳 児 診 健	15日(火) 16日(水)	午前10時～10時半 保健センター



目指すは「一人前」の関取に

ひと 輝いていま

障害を抱えながらもいきいきと働く

代田 正夫 さん

働

きたいと願う障害者の
就労支援を行っている

蔵市障害者就労支援センター。
今月は同センターを通じて民
間企業に就職し、戸惑いなが
らもいきいきと働いている代
田正夫さん（中央3丁目・26
歳）をご紹介します。

都内のあるビルの5階
広々としたフロアに90人以上
が働く大きな会社で代田さん
は働いています。コピーを取
ったりパンフレットの折り込
み作業をしたりと、一生懸命
な代田さん。額の汗が光りま
す。郵便物が届くと座席表を
携えながら1人1人に配りま
す。「ありがとう」。職場の人か
ら言われるこの瞬間がとても

うれしいと話してくれました。
代田さんは読み書きや計算
に不自由がある知的障害者で、
高齢の父との2人暮らしです。

自立を考え職を探していた昨
年8月、センターから現在の
会社を紹介されました。しか
し面接の日、会社の規模に圧
倒された代田さんは、その場
で辞退してしまいました。そ
れでも会社はその後も代田さ
んを待っていてくれました。
自分を必要としてくれていた
ことに喜びを感じつつも、な
かなか就職への1歩を踏み出
せなかった代田さんを勇気づ
けたのは、日ごろ相談に乗っ
てくれていた職員言葉でし
た。「11月にある2週間の研
修を大相撲の巡業だと思っ
てがんばれ」。相撲が大好きな
代田さんはこの言葉に背中を
押され、研修に臨んだそうで
す。そして先月から正採用と
なりました。朝の通勤ラッシ
ュにもまれ、職場の雰囲気や
慣れない事務で、疲労困ぱい
の毎日。でも仕事は楽しいと
言う代田さん。「自分は相撲
にたとえたら新弟子です。で
も、早くもつと仕事を覚えて
一人前の関取になりたい」。
代田さんは現在、パソコンを
覚えるため、アルファベット
を勉強中です。

ぷらっと・わらび・小さな旅

老人福祉センター 「けやき荘」

ぷらっとわらび東
ルート15番目の停留
所「塚越5丁目」で
下車して5分ほど歩
いた所に老人福祉セ
ンター「けやき荘」
があります。60歳以
上の人が、教養の向
上や健康増進、レク
リエーションなどに
利用できる鉄筋平屋
建ての施設です。
同館には、20のク
ラブ・団体や9講座
があり、仲間で知識
や技術を磨けるほか、

ロビーでくつろぎながら、お
しゃべりを楽しめます。ロビ
ーから窓の外に目をやると、大
きなとうろうやどつしりと根
を張ったアカマツのあ
る、石畳みの純和風庭
園が広がります。草木
の生長や季節の花々が、
利用者の皆さんの目を
楽しませています。
こうして、地域のお
年寄りの憩いの場とし
て親しまれている同館
ですが、昭和60年の開
館当時、こけら落とし
として開かれたのが
「塚越寄席でした。以
来毎年開かれ、皆さん
も楽しみにしている催



和室で囲碁や将棋を楽しむ皆さん



ニラの種

冬至も近づき、1年でもい
ばん日が短い時期を迎えた12
月中旬のある日、北町1丁目
でニラを見つけました。以前
このコラムで、夏のニラが白
い小さな花を幾つも咲かせる
様子をご紹介したことがあり
ますが、この季節になると花
はすべて落ち、茎の先端に付

くのは、熟してはじけた褐色
の実と、そこに包まれる小
な黒い種になっていました。
見つけたとき、まだこぼれ落
ちずに残っていた種は半分ほ
ど。残った種も、むき出しで
北風にさらされ、今にも落ち
てしまいそうだったので、思
わず写真を撮りました。今ご
ろは風に吹かれてこぼれ落ち
た種が、新しい命が芽吹く春
を待っていることでしょう。

わらびの野鳥・虫・草

(271)